



## 「先生と呼ばれるほどの…」

キリスト教センター長 ミカエル 藤倉哲哉

みなさんは「先生と呼ばれるほどの馬鹿でなし」という川柳を知っていますか。自分は「先生」と持ち上げられていい気になるほど馬鹿ではないという意味だとか、「先生」と呼ばれて天狗になっている者を見て馬鹿じゃないのと嘲笑っている川柳だと言われます。私も少しビミョーに思います。

キャンパスには多くの先生がいます。もちろん教員は先生、学校でなくても教えてくれる茶道やピアノの先生、医師も先生、弁護士も先生、忘れてはいけない教会の牧師・チャプレンも先生、もしかすると政治家・議員は最も軽んじられ、揶揄される「先生」かも知れません（失礼!?!）。

さて、先生と呼ばれるこれらの職業に共通することはいったい何でしょうか。医師や弁護士、政治家からは高給取りを連想するかも知れませんが、学校の教員や教会の牧師は…残念ながらあてはまらない場合が多いようです。では、他にどんなことが共通するのでしょうか。

マルコによる福音書10章43節 「…あなたがたの中で偉くなりたい者は、皆に仕える者になり、いちばん上になりたい者は、すべての人の僕になりなさい。人の子は仕えられるためではなく仕えるために、また、多くの人の身代金として自分の命を献げるために来たのである。」

それは冒頭の川柳の意味を逆に考えるとわかります。川柳が教えるところは「先生」と呼ばれても尊大・傲慢でいるのではなく謙虚であれということです。人々はこれらの職業に対して尊敬の念を込めて「先生」と呼び、それは社会的に責任の重い、人々の生命や人生に関わる仕事と考えているからです。

しかし、人は自分の力が大きいと思ひ違いをしたり、もっと尊敬を集めたいと思うようになってしまいます。尊敬を集める仕事や地位であれば謙虚でなければならない、上に立つ者こそみなに仕える者になりなさい。学院の建学の精神は「神を恐れ 人を恐れず 人に仕えよ」なので「謙虚な心で人のために仕事をしなさい」と考えるとすっきり納まる気がします。

そういえば、社長が毎朝のように社員の誰よりも早く出勤して会社や店の周りを掃除しているという話を聞くことがありますね。

リハビリテーション学部のみなさんは、国家試験に合格して病院や施設に勤めたら、新卒でもいきなり「リハビリの先生」と呼ばれることがあります。どうぞ、謙虚な心を忘れずに頑張ってください。



## 一口メモ キリスト教のカレンダー

「先生と呼ばれずに仕えなさい」と言ったイエスの降誕、まもなくクリスマスを迎えます。クリスマスは12月25日ですが、準備を始める日は年によって移動します。教会では25日までに日曜日を4週を過ぎ決まりで、2022年は11月27日(日)からクリスマスの準備Advent・アドベントが始まります。

キリスト教の国々では日本のように12月25日でクリスマスが終わるのではなく、「お七夜」にあたる1月1日イエス命名日、1月6日に東方から来た博士にまみえた顕現日、直後の日曜日にイエスが洗礼を受けたところでクリスマスシーズンは区切りを迎えます。

Thanksgiving・収穫感謝祭を終えて1年の実りに感謝し、家族や親しい友人であたたかく過ごすクリスマス休みはいいものです。

そして、繁華街のイルミネーションなどは1月中旬まで続き、人びとはもう少しクリスマスの余韻を楽しみます。

ADVENT CALENDAR



## ウクライナのための祈り

正義と平和の神よ、  
わたしたちは今日、ウクライナの人々のために祈ります。  
またわたしたちは平和のために、そして武器が置かれますよう祈ります。  
明日を恐れるすべての人々に、  
あなたの慰めの霊が寄り添ってくださいますように。  
平和や戦争を支配する力を持つ人々が、知恵と見識と思いやりによって、  
み旨に適う決断へと導かれますように。  
そして何よりも、危険にさらされ、恐怖の中にいるあなたの大切な  
子どもたちを、あなたが抱き守ってくださいますように。  
平和の君、主イエス・キリストによってお願いいたします。  
アーメン。

ジャスティン・ウェルビー大主教  
スティーブン・コットレル大主教



## A Prayer for Ukraine

God of peace and justice,  
we pray for the people of Ukraine today.  
We pray for peace and the laying down of weapons.  
We pray for all those who fear for tomorrow,  
that your Spirit of comfort would draw near to them.  
We pray for those with power over war or peace,  
for wisdom, discernment and compassion to guide their decisions.  
Above all, we pray for all your precious children, at risk and in fear,  
that you would hold and protect them.  
We pray in the name of Jesus, the Prince of Peace.  
Amen.

Archbishop Justin Welby  
Archbishop Stephen Cottrell



ウクライナのための祈り (カード) 日本聖公会東京教区のページへ

禁複製転載 (C) St.Michael's KIU\_MTF  
神戸国際大学キリスト教センター

